

NY マーケットレポート (2015 年 3 月 18 日)

NY 市場では、米 FOMC を控えて様子見ムードも強まっており、序盤からドル円・クロス円は小動きの展開が続いた。そして、FOMC では、注目された「辛抱強く」との文言が削除されたものの、同時に発表された FOMC の経済予測で、米 GDP と政策金利の予測が下方修正されたことから、米国の利上げ時期が後退するとの思惑が広がり、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。その反面、株価が急反発となったことから、円を売る動きが優勢となり、クロス円は終盤まで堅調な展開が続いた。ドル/円は、一時 119 円台前半まで下落し、約 3 週間ぶりの安値を付ける動きとなった。

2015/3/18 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.32	121.41	121.26
EUR/JPY	128.75	128.74	128.41
GBP/JPY	179.02	179.19	178.87
AUD/JPY	92.23	92.58	92.13
EUR/USD	1.0613	1.0614	1.0580

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.33	121.11
EUR/JPY	128.86	128.42
GBP/JPY	179.03	177.28
AUD/JPY	92.40	92.06
EUR/USD	1.0636	1.0592

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19544.48	+107.48
ハンセン指数	24120.08	+218.59
上海総合	3577.30	+74.45
韓国総合指数	2028.45	-1.46
豪ASX200	5842.35	+0.23
インドSENSEX指数	28622.12	-114.26
シンガポールST指数	3361.75	-8.20

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6945.20	+107.59
仏CAC40	5033.42	+4.49
独DAX	11922.77	-58.08
ST欧州600	398.65	+1.32
西IBX35指数	11050.00	+21.90
伊FTSE MIB指数	22565.19	-157.87
南ア 全株指数	52187.48	-112.76

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	119.82	121.21	119.31
EUR/JPY	130.77	131.47	128.26
GBP/JPY	180.01	181.01	177.18
AUD/JPY	93.48	93.82	92.16
NZD/JPY	90.05	90.58	88.63
EUR/USD	1.0915	1.1033	1.0589
AUD/USD	0.7803	0.7847	0.7606

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18076.19	+227.11
S&P500	2099.42	+25.14
NASDAQ	4982.83	+45.39
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14962.24	+63.71
ブラジルボルサ指数	44360.87	+599.51
ボネバ指数	51526.19	+1241.07

3/19 経済指標スケジュール

13:30 【日】1月全産業活動指数
 14:30 【日】2月全国百貨店売上高
 16:00 【スイス】2月貿易収支
 17:30 【スイス】政策金利発表
 18:00 【欧】欧州中銀 月報
 18:00 【ノルウェー】政策金利発表
 19:00 【欧】4Q労働コスト
 21:30 【米】新規失業保険申請件数
 21:30 【米】失業保険継続受給者数
 21:30 【米】4Q経常収支
 23:00 【米】3月フィラデルフィア連銀景況指数
 23:00 【米】2月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1151.30	+3.10
NY 原油	44.66	+1.20
CMEコーン	374.75	+3.75
CBOT 大豆	965.00	+10.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.55%	0.67%
3年債	0.90%	1.06%
5年債	1.39%	1.55%
7年債	1.71%	1.87%
10年債	1.91%	2.05%
30年債	2.50%	2.61%

3/19 主要会議・講演・その他予定

- ・ EU首脳会議
- ・ 米10年TIPS債入札

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 121.17 ユーロ/円 128.43 ユーロ/ドル 1.0602

21:00

欧州株式市場

米主要株	株価	前日比
英 FT100	6886.73	+49.12
仏 CAC40	5020.41	-8.52
独 DAX	11895.98	-84.87

(出所: SBILM)

21:30

《 経済指標の結果 》

1月カナダ卸売売上高(前月比) -3.1%(予想 -0.8%・前回 2.8%)

前回発表の 2.5%から 2.8%に修正



(出所: ブルームバーグ)

21:45

スウェーデン中銀が利下げ、国債 300 億クローナ購入へ。

0.15%の利下げの-0.25% (前回-0.10%)

SWE/JP-円, 10分足, #100



(出所: ネットダニア)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

3 月ポーランド鉱工業生産販売 (前月比) 1.3% (予想 0.6%・前回 -3.1%)

3 月ポーランド鉱工業生産販売 (前年比) 4.9% (予想 4.1%・前回 1.7%)

2 月ポーランド生産者物価指数 (前月比) 0.0% (予想 0.1%・前回 -0.1%)

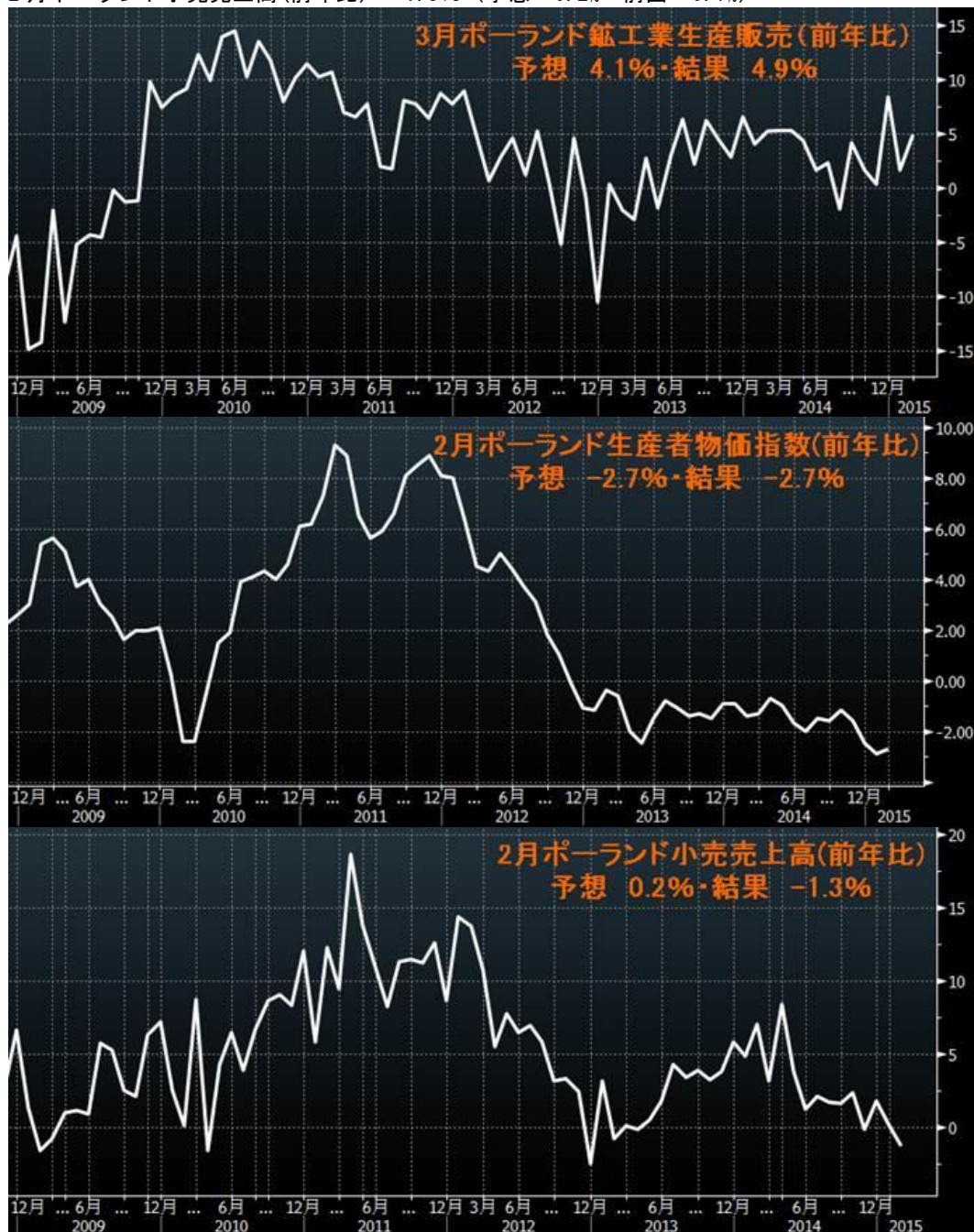
前回発表の-0.2%から-0.1%に修正

2 月ポーランド生産者物価指数 (前年比) -2.7% (予想 -2.7%・前回 -2.8%)

前回発表の-2.9%から-2.8%に修正

2 月ポーランド小売売上高 (前月比) -2.0% (予想 -0.7%・前回 -22.6%)

2 月ポーランド小売売上高 (前年比) -1.3% (予想 0.2%・前回 0.1%)



(出所:ブルームバーグ)

22 : 34

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17772.04	-77.04
ナスダック	4925.02	-12.41

(出所: SBILM)

《ポイント》

OECD（経済協力開発機構）は、中間報告でユーロ圏の今年の成長率を 1.4%と予想。昨年 11 月時点の 1.1%から見通しを引き上げた。ユーロ圏経済の勢いは幾分強まったものの、OECD は低インフレ と内需の弱さを指摘した。レポートでは「ECB の異例な景気刺激措置と危機後の財政健全化の進展を踏まえ、需要をさらに支えるような財政政策は可能だろう」と分析した。

一方、日本については 1.0%成長（従来予想は 0.8%）との見通しを示した。日本については原油下落と金融緩和継続によって需要が押し上げられるとし、今年の成長加速を予想。燃料の値下がり総合インフレ率を低下させる公算であるものの、円安と名目需要の増大によってコアインフレ率は上昇すると指摘した。また、米国の成長率予想は 3.1%とし、昨年 11 月時点の見通しから変更しなかった。

OECD は、異常な低金利に伴うリスクを理由に中銀が行動を控えるべきではないとした上で、「ファンダメンタルズではなく流動性に起因する」不合理な資産価格や過度のリスクテイクは引き続き懸念材料だとし、「中期の国債をマイナスの名目金利で発行できる国が増えているのは驚くべきことだ」とコメントした。

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・962 万バレル増加

ガソリン在庫・・・447 万バレル減少

留出油在庫・・・38.0 万バレル増加

23 : 35

《 NY 株式市場 序盤》

序盤の株式市場は、FOMC の結果発表で利上げが近づいていることが示されるとの思惑から売りが先行し、主要株価は軟調な展開が続いている。

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17754.74 (-94.34) 、 S&P500 2066.88 (-7.40) 、 ナスダック 4926.40 (-11.03)

《 NY 債券市場 ・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、FOMC 声明で物価上昇の弱さに言及するとの観測が広がり、中長期債が買われた。一方、利上げ開始が近いことを示唆するとの警戒感から短期債は買いが手控えられ、利回り曲線がフラット化した。

午前の利回りは、30 年債が 2.58%（前日 2.61%）、10 年債が 2.02%（2.05%）、7 年債が 1.84%（1.86%）、5 年債が 1.54%（1.55%）、3 年債が 1.06%（1.07%）、2 年債が 0.67%（0.67%）。

《欧州のポイント》

①議事録によれば MPC は「金融政策トレンドの乖離とユーロ圏に比べて強い英経済成長見通しがポンド相場に引き続き上昇圧力を加えるリスクがある」とした上で、「これが、インフレ率が目標を下回る期間を長引かせ、インフレ期待の低い状態が長期化するリスクを高める」と分析した。

MPC は 9 対 0 で 0.50%での政策金利据え置きを決めたものの、議事録によれば決定は 2 委員にとっては「微妙」なものだった。予想される金利の方向については「さまざまな見方」があったが、向こう 3 年間に金利が上昇する「確率が 50%を超えるとの見解で全員が一致した」という。MPC は低いインフレ率が賃金やインフレ期待、労働コストに影響する可能性を指摘する一方、労働市場の需給が引き締まることでインフレに上昇圧力がかかる可能性も意識していた。

②アイスランド中銀は、主要政策金利である7日物貸出金利を5.25%に、7日物預金金利を4.50%にそれぞれ据え置くと発表した。経済成長とインフレの異なる動きを見極めて次の一手を打つ姿勢を示した。中銀は、成長加速と賃金上昇の兆しが将来の利上げの根拠となる一方で、インフレ率が目標を下回り続けていることは利下げの根拠と指摘した。

③イタリア国家統計局が公表した貿易収支統計によると、1月の貿易黒字は2億1900万ユーロとなり、前年同月の2億5100万ユーロから縮小した。輸出と輸入はいずれも前年比-4.2%となった。EU加盟国との貿易黒字は、4億5200万ユーロで、前年同月の11億8900万ユーロから減少した。

④スウェーデン中銀総裁は、デフレの脅威に対抗するための措置を拡大することが可能との認識を示した。スウェーデン中銀は、2月に政策金利を-0.10%に引き下げたほか、国債買い入れプログラムを発表した。総裁は、国内の物価上昇率が上向いている兆候があるが、「依然として不透明感が強く、何らかの結論を導き出すのは時期尚早」との見方を示した。ただ、これまで発表された400億クローナの国債購入では不十分との指摘もある。

⑤EU統計局が発表した1月のユーロ圏貿易収支は、季節調整前で79億ユーロの黒字となった。黒字額は市場予想の150億ユーロを大きく下回った。輸入は前年同月比-6%の1403億ユーロ（1488億ドル）。エネルギーの輸入コスト低下が主因となった。輸出はほぼ横ばいの1482億ユーロだった。EU統計局は季節調整済みデータについて、技術的な問題により今回の発表では提供できないとした。

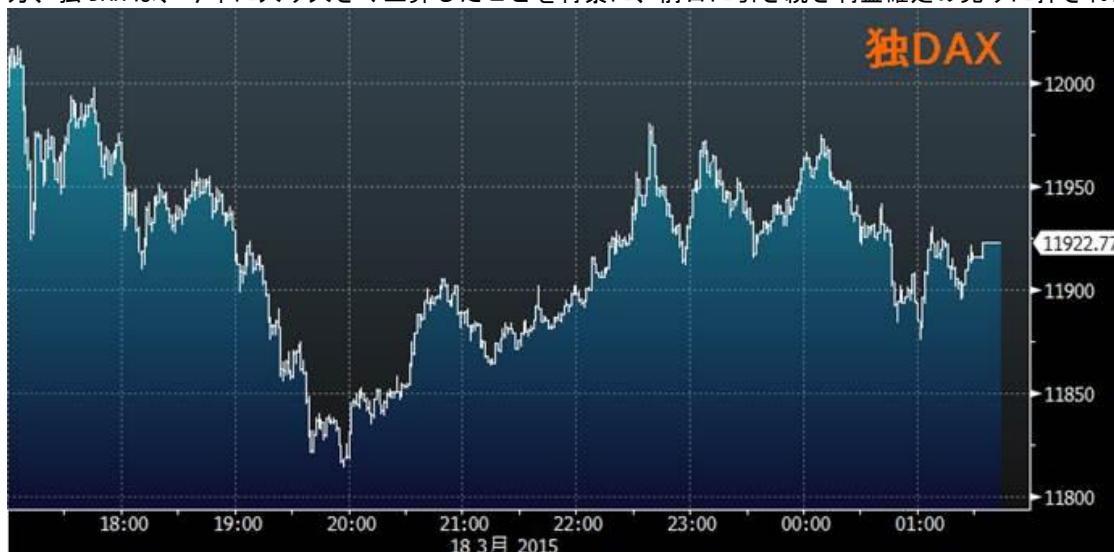
⑥デンマーク中銀は、今年のGDP伸び率見通しを2.0%と、従来の1.7%から引き上げた。2016年の予想も2.0%から2.1%に上方修正した。今年の財政赤字の対GDP比率は1.8%と、従来見通しの2.4%よりも縮小すると予想。中銀はまた、通貨クローネは主に国内投資家から圧力を受けているとの見方を示した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6945.20	+107.59
仏 CAC40	5033.42	+4.49
独 DAX	11922.77	-58.08
ストック欧州 600 指数	398.65	+1.32
ユーロファースト 300 指数	1590.25	+6.40
スペイン IBEX35 指数	11050.00	+21.90
イタリア FTSE MIB 指数	22565.19	-157.87
南ア アフリカ全株指数	52187.48	-112.76

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英FT100は、金融や石油関連株を中心に買われ、大幅高となった。一方、独DAXは、今年に入り大きく上昇したことを背景に、前日に引き続き利益確定の売りに押された。



(出所:ブルームバーグ)

3 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

FOMC FF金利誘導目標 0.00%-0.25% (予想 0.00%-0.25%・前回 0.00%-0.25%)



3 : 05

≪ FOMC ≫

- ・「『辛抱強い』の文言を削除」
- ・「4月会合での利上げ依然可能性低い」
- ・「利上げに際してはインフレに『妥当な地震』持ちたい」
- ・「国外情勢の展開を考慮するとあらためて表明」
- ・「経済・雇用見通しへのリスクはほぼ均衡」
- ・「住宅は依然鈍い、輸出の伸びは弱くなった」
- ・「経済成長は、幾分か穏やかになった、雇用市場は改善」

3 : 10

FOMC 経済予測

- ・「引き締めペースは12月予測時よりも減速へ」
- ・「15年GDPは2.3-2.7%、12月時は2.6-3.0%」
- ・「15年の失業率は5.0-5.2%、12月時は5.2-5.3%」
- ・「16年の失業率は4.9-5.1%、12月時は5.0-5.2%」
- ・「16年末のFF金利は1.875%、12月時は2.500%」
- ・「17年末のFF金利は3.125%、12月時は3.625%」

3 : 30

≪ 要人発言 ≫

イエレン FRB議長～定例会見

- ・「4月会合の後での利上げの可能性を否定しない」
- ・「『辛抱強い』削除はFOMCの焦りを意味しない」
- ・「輸出の伸びは弱くなったようだ」
- ・「ドルの上昇は低インフレの長期化を意味する」
- ・「利上げは4月会合の後、いつでも起こり得る」
- ・「6月利上げの可能性を否定しない」
- ・「第1四半期の成長率は、前期比で幾分か下がったもよう」

- ・「強いドルは恐らく、輸出伸び悩みの理由の一つ」
- ・「雇用の伸びペースは引き続き堅調」
- ・「完全雇用には引き続き向かっている」
- ・「より広範な労働指標も改善」
- ・「労働市場の緩みは引き続き縮小」
- ・「賃金の伸びは引き続き鈍い」
- ・「一定の循環的せい弱性は残る」
- ・「労働市場の一段の改善余地が依然存在」
- ・「労働市場を下支えする上な十分な成長力を引き続き見込む」
- ・「実質 GDP、第 1 四半期は鈍化」
- ・「住宅市場の回復は抑制」
- ・「輸出の伸びは弱まったもよう」
- ・「GDP の伸びは緩やかなペースと予想」

4 : 15

NY 金は、中心限月が前日比 3.10 ドル高の 1 オンス＝1151.30 ドルで取引を終了した。

4 : 20

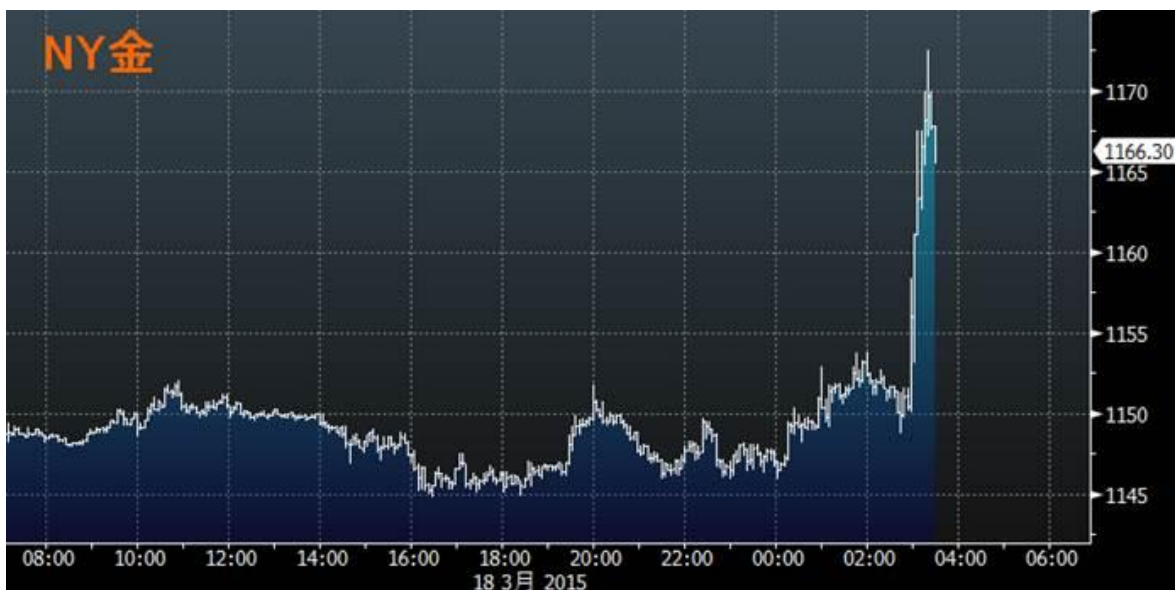
NY 原油は、中心限月が前日比 1.20 ドル高の 1 バレル＝44.66 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1151.30	+3.10
NY 原油	44.66	+1.20

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

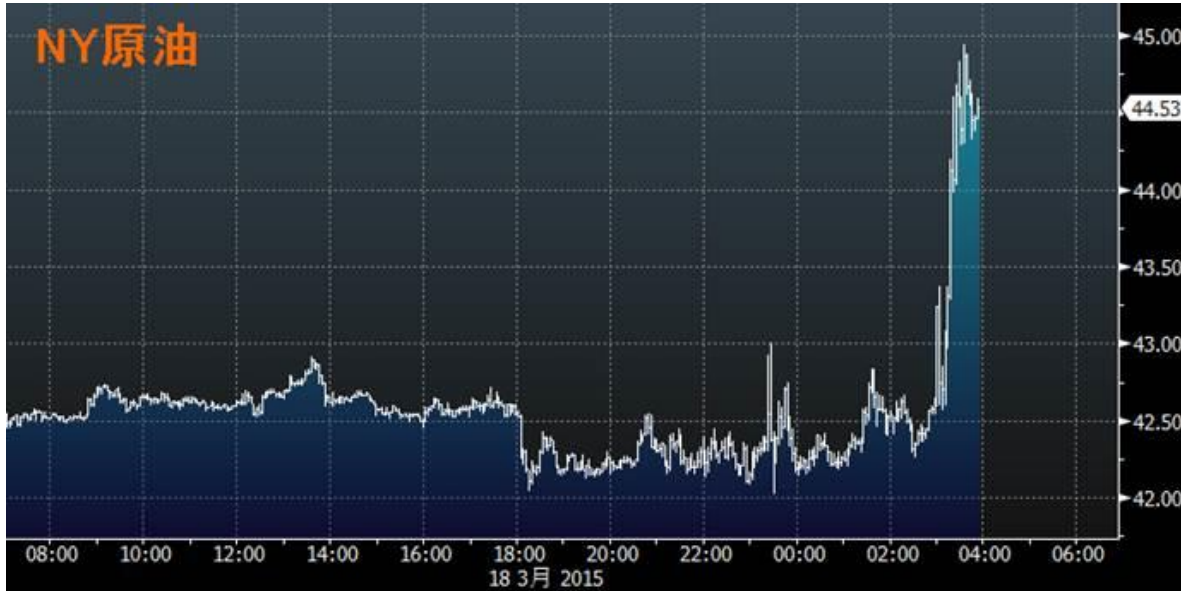
NY 金は、米 FOMC の結果発表を控えて、小動きの展開が続いた。ただ、FOMC を受けて、時間外取引で一時 1170 ドルを上回る動きも見られた。



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に増えたことを嫌気して売りが広がり、一時は2009年3月以来、約6年ぶりの安値水準となる1バレル=42・03ドルまで値下がりする場面もあった。しかし、米FOMCの声明発表を受けてドルが主要通貨に対して下落し、ドル建ての原油の割安感から買い戻しが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	18076.19	+227.11	18097.12	17697.52
S&P500 種	2099.42	+25.14	2106.85	2061.23
ナスダック	4982.83	+45.39	5001.57	4907.72

(出所:SBILM)

《 米株式市場 》

米株式市場は、FOMCの結果発表で利上げが近づいていることが示されるとの思惑から、主要株価は売りが先行し、軟調な展開が続いた。しかし、FOMCを受けて利上げ期待が後退したことを受けて、大きく上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で151ドル安まで下げる動きとなった。その後はFOMCを受けて、248ドル高まで上昇する動きとなった。



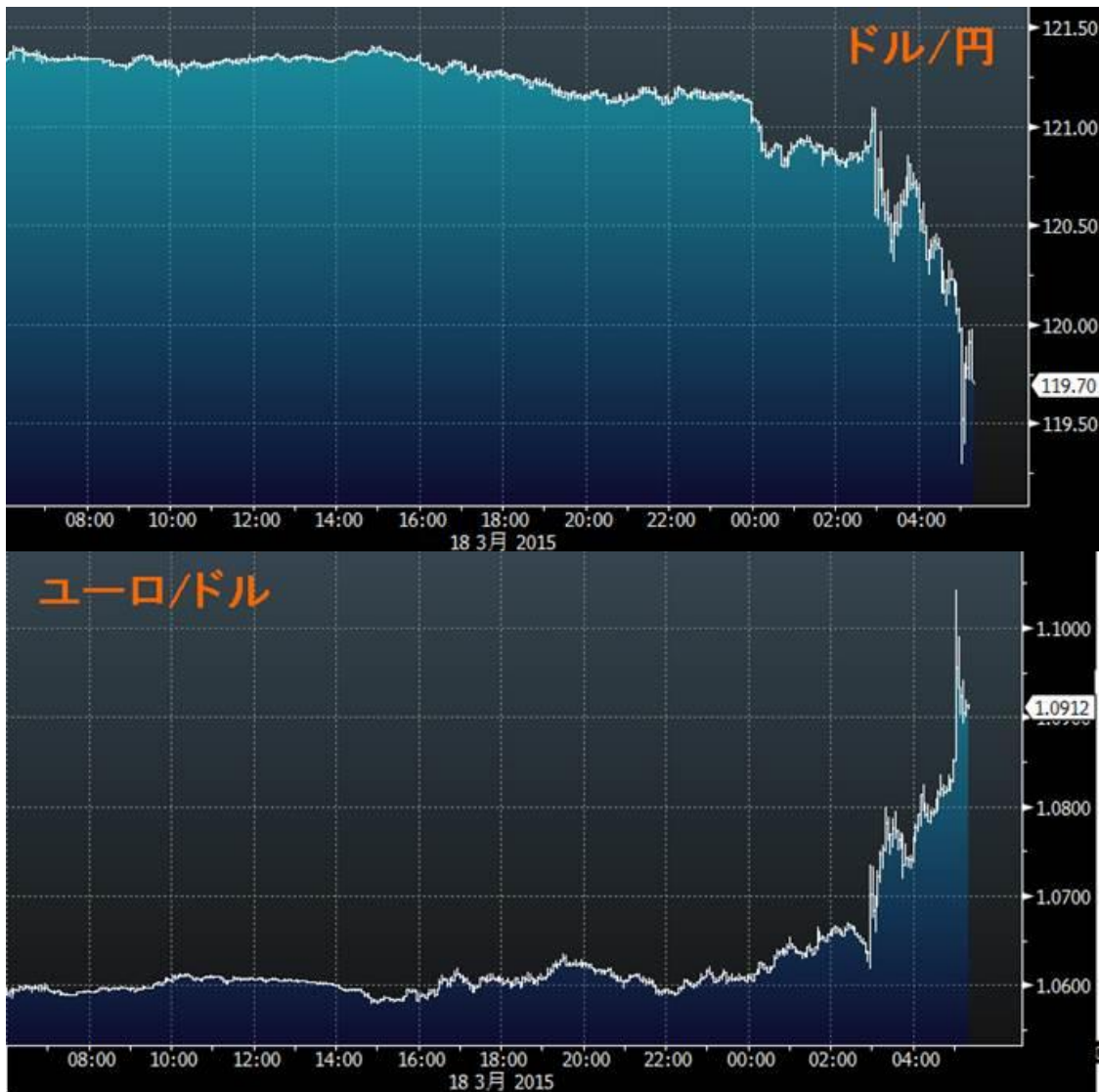
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	119.82	121.21	119.31
EUR/JPY	130.77	131.47	128.26
GBP/JPY	180.01	181.01	177.18
AUD/JPY	93.48	93.82	92.16
NZD/JPY	90.05	90.58	88.63
EUR/USD	1.0915	1.1033	1.0589
AUD/USD	0.7803	0.7847	0.7606

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米 FOMC を控えて様子見ムードも強まっており、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開が続いた。しかし、FOMC で米国の利上げ期待が後退したことから、ドルが主要通貨に対して下落となり、株価が大きく上昇したこともあり、クロス円は堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。